

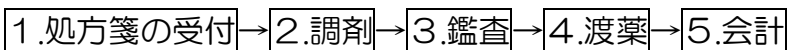
(有) 静岡健康企画 ことぶき薬局 TEL055(977)6024 たまち薬局 TEL054(251)1678
ひまわり薬局 TEL053(463)4312 みかん薬局 TEL053(584)2230 いちご薬局 TEL055(946)6430

—処方箋調剤について—

今回は薬剤師の仕事のうち、保険調剤薬局の「処方箋調剤」について紹介します。

保険調剤薬局での処方箋調剤は、処方せんに従い薬を揃えてお渡しするだけではありません。薬局での患者様一人ひとりの情報やお薬手帳を参考にしながらお薬をお渡ししています。患者様一人ひとりの情報は、「薬歴」と呼んでいて、以前患者様からお聞きした副作用や薬の処方歴などを記録しています。お薬手帳は、他の医療機関で出された薬の飲み合わせ、受診間隔などのチェックもしています。

処方箋調剤の大まかな流れは、以下のようになっています。



1. 処方箋の受付 (事務・薬剤師)



まず、医療機関で発行された「処方箋」を受けます。ほとんどが保険扱いの為、月初めに保険証を確認しているところが多いです。

お薬手帳を持ってきている場合は、処方箋と一緒に受付に出してください。お薬手帳にはお薬をつくる上で、大事な情報が書かれています。他の病院で同じ薬や似た薬、一緒に服用してはいけない薬がないか確認します。

この時点で自宅に薬がどれだけ残っているか確認をし、必要以上の残薬があれば調整します。

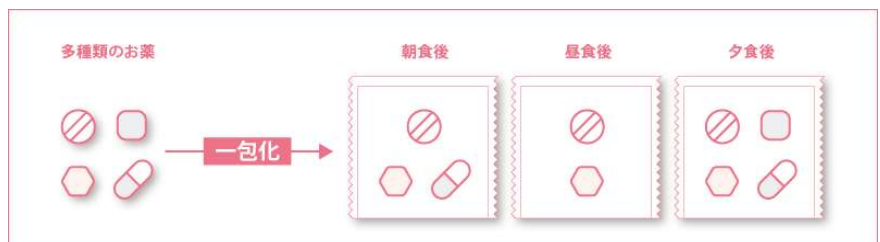
保険調剤薬局では、どこの医療機関の処方せんでもお受けします。
お薬の在庫がない場合は、取り寄せて用意します。

2. 調剤 (薬剤師)

処方箋に記載されている薬を用意することを「調剤」と呼んでいます。

飲み薬は、錠剤の薬、粉薬、シロップの薬など、同じ飲み薬でも色々な剤形の薬があります。名前が同じでも規格（薬の成分の量）が違うものもあります。

薬の錠剤の数が多く解りにくいときの誤飲防止や、疾患によりヒートから錠剤を出しにくい、などの場合、服用時点で一つの袋にパックしてお渡しする事もあります。これを「一包化」と呼んでいます。



錠剤をのめない人は、錠剤を砕いて粉末にしたり、散剤を用いたりします。

外用薬（軟膏、湿布、吸入薬、坐薬、注射の調剤）はそのまま調剤できるものがほとんどです。処方箋の指示がある場合、軟膏や吸入薬を混合して調剤します。

3.監査（薬剤師）

調剤した薬があっているか、もう一度チェックを行ない、間違いがないか確認します。このチェックの事を「監査」と呼んでいます。

たまち薬局では薬の鑑査する機械を導入し、記録に残しています。処方箋通り薬が調剤されているかをチェックする他に、以下の様な事も確認しています。



薬歴でチェック！

- ◆前回の処方内容と変更があるか
- ◆飲んではいけない薬(禁忌薬)が出ていないか
- ◆過去に副作用の有った薬が出ていないか
- ◆患者様の希望される調剤方法か

年齢、体重、性別チェック！

- ◆小児の場合には年齢や体重に合った薬の量が処方されているか
- 薬によっては性別で出せないものがあります。

併用薬をチェック！

- ◆一緒に飲んではいけない薬がないか
- 2種類以上の薬が処方された場合は、薬の代謝、排泄で相互作用がある場合があります。吸収が阻害されて効かなかったり、排泄が阻害されて効きすぎたりすることもあります。
- ◆重複投薬がないか
- 他院で同じような薬が出ている場合が時々あります。お薬手帳を持っていないと正確に内服薬の名称を把握できないことがあります。

肝機能・腎機能チェック！

- 薬は肝臓で代謝されるものが多いです。肝機能が弱っていると薬が代謝されずに作用が強くなり現れる場合があります。また、薬の副作用で肝機能障害が起きていないかチェックします。
- 腎臓で排泄される薬は、高齢者の場合や腎機能が低下している場合、排泄が遅れ薬の作用が強くなり現れることがあります。

4.渡薬（薬剤師）

〈定期的な薬の場合〉

薬による副作用が出ていないか、効果はどのくらいあるのか、このまま続けていいのか、を確認するためにいろいろお聞きすることがあります。薬の効果や副作用を確認するために、検査をしていけば検査値も聞くことができます。お聞きした検査値は薬局の記録に残しています。また、静岡民医連の薬局ではお薬手帳に検査結果をまとめてお書きするサービスを行っています。

〈初めての薬の場合〉

患者様が初めて飲む薬は、症状をお聞きし適切な薬が処方されているか確認します。また、患者様に、薬の効果や服用方法、注意していただきたい副作用などを説明します。

外用薬は使用方法や副作用を説明します。外用薬は使用部位や患部の状態をお聞きし、症状に合った、副作用の出にくい使用方法を提案させていただきます。

その他にも、残薬や服薬状況、患者様からの質問をお聞きします。

残薬があったり、薬の内容に患者様が疑問を持っていたり、薬が飲めない場合、薬の変更が必要と思われる時など、薬局から医師に問い合わせをすることもできます。診察室で言えなかったことなども伝えて頂けるとありがたいです。



5.会計

このような作業を経て、患者様にお薬が渡されます。安全に薬を使用できるようチェックしているため、患者様に薬が渡るまでに時間がかかることがありますが、ご理解の程おねがいいたします。

文責：上妻